リーディングDXスクール事業 【実践事例】

壬生町立壬生東小学校

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるデジタル教科書の活用

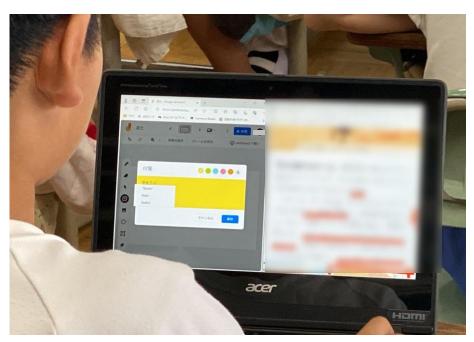




<小1 国語>

物語文を読み、登場人物の気持ちがわかる箇所にデジタル教科書で各自が印 (スタンプ) をつけた。印はカラーで心情が表現されるため、低学年でも簡単に読み取った心情を表現できた。また、同じ文章でもつける印が各自異なることに気づき、**印の違いから読み取った心情の違いを自然に話し合っていた**。デジタル教科書による可視化により、個別に読み取る学びが協働的な学びにつながった。

【取組内容①】 個別最適な学びを支える教科書読解のスキルとキーボード入力のスキル





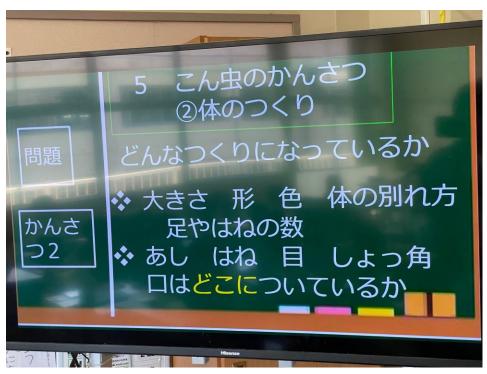
<小6 社会>

教科書の内容を教師が一斉に説明し板書する授業から、子供が主体的に学びとる授業への転換を図っている。それを支える「教科書読解のスキル」と「キーボード入力のスキル」を育成してきた。教科書読解では、課題解決に必要な情報を収集するため、資料と本文を結びつけ内容を把握する方法を教えた。情報を取り出し自分の考えを作るために基盤となるキーボード入力のスキルは、授業時間外に日常的な練習で育てている。

(右の写真は約15分間で教科書の読解と情報の取り出しを行った児童の画面)

【取組内容②】実物の観察体験を補う NHK for School の活用





<小3 理科>

昆虫の観察でNHK for Schoolを活用した。実際の昆虫の観察体験を行い、観察の見方・考え方を押さえた。その上で、より詳細な体の作りに着目したり、別の昆虫と比較したりする活動にインターネット上の教材(NHK for Schoolのものすごい図鑑)を活用した。実際の観察体験で得た見方・考え方をより深める活動となった。